

大館市教育委員会会議録

日 時 平成28年6月2日(木)
午後3時30分
場 所 大館市立上川沿公民館 第2研修室

大館市教育委員会

大館市教育委員会会議録

1 開会の日時 及び場所	日 時	平成28年6月2日(木) 午後3時30分		
	場 所	大館市立上川沿公民館 第2研修室		
2 出席委員の氏名(4名)				
教育長職務代理者	山 田 和 人	委 員	根 田 穂美子	
委 員	清 野 克 子	委 員	三 浦 仁	
3 欠席委員の氏名(なし)				
4 委員以外の出席者職氏名				
なし				
5 出席した職員の職氏名				
教 育 長	高 橋 善 之	教育総務課長補佐	成 田 政 仁	
教 育 次 長	安 保 透	学校教育課長補佐	羽 生 昇 二	
教育総務課長	加 賀 安 長	学校教育課長補佐	長 岐 公 二	
学校教育課長	山 本 多鶴子	生涯学習課長補佐	小 玉 均	
教育研究所長	貝 森 逸 子	スポーツ振興課長補佐	佐 藤 税	
生涯学習課長	一 関 留美子	中央公民館長	松 田 新 一	
スポーツ振興課長	三 澤 勝	生涯学習課生涯学習係長	奈 良 美和子	
郷土博物館長	若 宮 司	教育総務課総務係長	関 智 仁	
6 会議録署名委員 教育長・根田委員				
7 会議書記 教育総務課 総務係長 関 智仁				
8 教育長報告				
(1)	平成28年度大館市奨学生の採用について			
(2)	学校評議員の委嘱について			
(3)	学校関係者評価委員の委嘱について			
(4)	平成27年度大館市立図書館サービスに関する評価について			
(5)	山田記念ロードレース大会及びチャレンジデーについて			
9 議 案				
協議第8号	平成28年度大館市一般会計補正予算(第1号)案について			
協議第9号	大館市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案			
議案第13号	大館市樹海ドームパークに関する条例施行規則の一部を改正する規則案			
議案第14号	平成27年度教育員会の点検・評価表について			
議案第15号	平成28年度教育員会の点検・評価項目について			
10 その他				
(1)	任期付職員の採用について(口頭説明)			
(2)	「一般財団法人 大館市文教振興事業団」の指定管理施設の運營業務			
(3)	中学校における新聞活用の拡充について			
(4)	市民プール解体事業の実施工程表			
(5)	4～5月の事故の状況			

議 事 の 経 過	
	開会 午後3時30分
教育長	ただ今より教育委員会会議を始めます。 本日の会議録署名委員は、根田委員にお願いします。
教育長	会議録の承認についてです。 4月1日分と4月25日分がございますが、いかがだったでしょうか。何かお気づきの点がありましたでしょうか。
全委員	なし。
教育長	「なし」とのことですので、承認とさせていただきます。
教育長	教育長の報告に入らせていただきます。
教育次長	5件の報告があります。各担当から説明させていただきます。
学校教育課長	(「平成28年度大館市奨学生の採用について」を、資料により報告) (「学校評議員の委嘱について」を、資料により報告) (「学校関係者評価委員の委嘱について」を、資料により報告)
生涯学習課長	(「平成27年度大館市立図書館サービスに関する評価について」を、資料により報告)
スポーツ振興課長	(「山田記念ロードレース大会及びチャレンジデーについて」を、資料により報告)
教育長	報告について、ご質問等ありますか。
委員	大館市の奨学生について、伺います。マスコミ等で報道されているのが、若い人と奨学金についてです。就職後の返還金の負担が大きく、その後の人生設計にも影響を及ぼして、そのことが格差社会の一つの傾向であると報道されています。大館市の返還の状況について、教えていただきたいと思えます。
学校教育課長 補佐	現在の状況は、資料がなく、正確にはお答えできませんが、一部の方については、就職ができなかったり、大学から大学院に進まれたりなどの理由で、返済の猶予をいただきたいと申し出された方が何名かいます。現在は、このような状況です。委員が言われたように、奨学金の返済に苦慮されている方

教育次長	<p>もおられますので、市としては来年4月を目指して、市の奨学金の貸与者で返済が開始された方については、大館市内に就職された場合、秋田県の奨学資金の免除制度と合わせますが、返済金の半額分を免除する方向で制度設計を進めているところです。ある程度制度が固まった段階で、教育委員会会議に提案させていただきたいと思います。</p> <p>滞納者の状況については、次回資料を提出させていただきます。</p>
委員	<p>後半、うれしい情報をいただきました。ふるさとキャリア教育を積み重ね、子どもたちは、夢を実現させようとする気持ちが育ってきています。そんな中、子どもたちが上の学校に進んだ時に、その先また希望を繋いでいく、その明かりが、もっと明るくなった気がします。教育は、人を作るための投資になります。教育には、お金が必要です。若い方が卒業した後に、そのように希望を持ちながら、希望を繋いで、自分がしたかった仕事や就いた仕事に自信を持って、前向きに進んで行けるよう、そうあって欲しいと思います。是非実現できるよう、よろしくお願いします。</p>
委員	<p>今年の奨学生に関しては、例年になくしっかりした作文を書いていたと記憶しています。人数が少なかったこともあり、丁寧に読むことができました。将来に対する明確な希望や大学生活の充実した内容、そのような思いをしっかりと持って、メンバーみんなが応援したいとの話し合いになりました。奨学金の返済に関しては、是非4月から制度が実現できるよう、よろしくお願いします。</p>
教育長	<p>日本は、教育に係わる費用について、公的扶助が非常に少ない国です。奨学金制度も、教育ローンと変わらないと言われているくらいです。社会状況として、子どもの貧困化も発生しています。そのようなことから、免除する方向性で、公的に人財を育成していくという方向性で進めてまいりたいと思いますので、ご理解をお願いします。</p>
委員	<p>山田記念ロードレース大会についてです。エントリーした方々から話を聞くと、色々と問題があるようです。それについては、是非クリアしていただき、県内外から来られるランナーたちに、走りやすい環境を整えてもらい、参加しやすい状況で大会を盛り上げていただきたいと思います。例えば、エントリー期間です。現在は3月上旬で締め切っているようですが、その時点だと、仕事の段取りがつくかが分からない状況だと、よく聞かされます。その辺を検討していただければと思います。</p>
スポーツ振興課長	<p>できるだけ期間を長くしようと取り組んできていますが、プログラムの印刷なども含めて大会日から逆算していくと、どうしてもその頃になってしまいます。そうであれば、申し込みの開始日を早めることもできるので、できるだけエントリー期間を長くするよう、検討したいと思います。</p>

委員	他の大会に出ている方からは、山田記念ロードレース大会は、エントリー期間が短いと言われます。その辺の検討をお願いします。
委員	学校関係者評価委員の委嘱についてです。点検評価表と比べて拝見しました。点検評価表の2-2-②の「学校評価の見直し及びさらなる充実」のところで、「評価の作業には、教職員も携わることにより、一人一人の学校経営改善の意識が生まれている学校もあるが、まだ全体ではない。」と評価されています。教育委員会としては、学校の評価委員には教職員も入れていただく方向で進める予定ですか。そうすることは、管理職だけが学校経営するのではなく、先生方も評価委員になることによって、他の先生方へ伝える発信力も違ってくると思われるので、伺いました。
学校教育課長	点検評価表の評価にある、評価作業に管理職だけでなく教職員も携わって欲しいというところは、学校の自己評価部分を最終的に分析する段階で、管理職だけでなく、それぞれの分担の教職員が係わることによって、全職員が学校運営に携わる意識が高まっていくだろうとの考え方です。今回の評価委員は、出来上がった学校の自己評価が適切かどうかを、さらに評価する委員になります。
委員	評価委員は、学校側で選任し、教育委員会へ報告となるのですね。
学校教育課長	推薦の形となります。
委員	その場合、一般の教職員も入っていいことになりますか。
学校教育課長	自分の学校以外の方々に外部から評価していただくことになるので、同じ学区の小学校の先生と中学校の先生は、お互いに評価委員になっています。
教育長	学校評価に関して大館市は、10年以上前から行っています。このように二重評価の形をとっています。
教育長	議事に入ります。協議第8号 平成28年度大館市一般会計補正予算（第1号）案についてをお願いします。
教育総務課長	（「協議第8号 平成28年度大館市一般会計補正予算（第1号）案について」を、大館市歳入歳出補正予算事項別明細書により説明）
教育長	ご意見、ご質問等ありますか。
委員	ご説明いただきましたが、教育総務課長の説明が、具体的にどこの部分なのか、残念ながら明確に分かりませんでしたので、次回から明確にお願い

	<p>します。中学校費の教育振興費の中の講演講師委託料について、具体的に教えてください。</p>
学校教育課長 補佐	<p>日本サッカー協会が行っている「夢の教室」を、今年度初めて行うものです。9月8日に北陽中学校へ日本サッカー協会の講師をお呼びし、体育の指導と講話の2部構成で授業を行っていただく予定です。講師は、日本サッカー協会で選定することになります。</p>
教育長	<p>特に異論がなければ、協議第8号について承認することによろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
教育長	<p>協議第8号を承認します。</p>
教育長	<p>次に、協議第9号「大館市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案」と議案第13号「大館市樹海ドームパークに関する条例施行規則の一部を改正する規則案について」、事務局の説明をお願いします。</p>
生涯学習課長	<p>(協議第9号「大館市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案」、資料により説明)</p>
教育総務課長	<p>(議案第13号「大館市樹海ドームパークに関する条例施行規則の一部を改正する規則案について」、資料により説明)</p>
教育長	<p>ご意見、ご質問等ありますか。</p>
委員	<p>議案第13号についてです。現行は、「使用を開始しようとする日の前日から」となっていて、それが改正案では、「使用を開始しようとする日当日の」となっていて、繋がらない気がします。</p>
教育総務課長	<p>改正案の意味は、前日の申し込みができなく、その日ということです。「の」の使われ方だと思いますが、総務課に確認し、このようになりました。</p>
委員	<p>意味とすれば、「すなわち」となりますね。「すなわち当日の」となりますね。</p>
教育次長	<p>そうなります。</p>
教育長	<p>二つの改正案には、「義務教育学校」という文言が追加されました。これまでも、小中連携とか小中一貫校はありました。「義務教育学校」という概念は、</p>

	<p>要するに1年生から9年生までという考え方です。今は、6・3制ですが、それを5・4制で組んだりなど、色々できます。秋田県では、井川町が導入を検討しています。</p>
委員	<p>小坂町の小中学校とは違いますね。</p>
教育長	<p>小坂町は、小中一貫校になります。</p>
教育長	<p>特に異論がなければ、協議第9号と議案第13号について承認することによってよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
教育長	<p>協議第9号及び議案第13号を承認します。</p>
教育長	<p>次に、議案第14号「平成27年度教育委員会の点検・評価表について」と議案第15号「平成28年度教育委員会の点検・評価項目について」、事務局の説明をお願いします。</p>
各課・館長 ほか	<p>(議案第14号「平成27年度教育委員会の点検・評価表について」、資料により説明)</p>
各課・館長 ほか	<p>(議案第15号「平成28年度教育委員会の点検・評価項目について」、資料により説明)</p>
教育長	<p>ご意見、ご質問等ありますか。</p>
委員	<p>先日、全県市町村教育委員会委員長・教育長会議があり、山田教育長職務代理に代わり出席させていただきました。とてもありがたい機会をいただき、感謝申し上げます。私自身、大館の学校支援地域本部の取り組みは素晴らしいと思っていますが、全県的にどうなのか、そこが知りたいと思っています。会議は、グループ別の協議で、事例交換を行いました。大館市では、地域の方との連携、そして、連携から地域への支援の形と進んでいます。しかしながら、地域との連携のところで、まだ苦心しているという地域もありました。それは、決して怠けているということではなく、地域事情があるようでした。地域事情のひとつに、ある地域では、合併の地域が広い中で学校統合を進め、それが今やっと一段落したということがありました。大館市等で進められているような施策は、これからしっかり行いたいとも話していました。私自身、5月に県南へ旅行する機会がありましたが、大館と違い、山が近くに見えず、平地が、田んぼが広々と広がっていました。この広いところが合併でひとつになっているということは、教育行政ならずとも行政に携わる方々にご苦労があると感じました。そして、地域事情の話を伺って、再</p>

	<p>認識できた思いがしました。また、ある教育長さんは、雪が全く降らない地域とたくさん降る地域を抱え、このように地域事情が違う中でも、そこを考えながら色々な施策をしていかなければいけないと話していました。比べて大館市を考えた場合、三つの地域が合併しましたが、「大館盆地を教室に、市民一人ひとりを先生に」と言うように、大館盆地の中に地域はあります。心が行き届きつつある。そして、届かせる距離にある。そのような考え方をしてもいいと思いました。上級学校についてもですが、短大も大学もあります。そこに力を借りながら、子どもたちも交流を重ねながら進んで行くことができます。そのような場所にあると思いました。会議当日の5月26日の地元紙には、おおだて型学力推進委員会に関する記事が掲載されていました。このように、大館市には地元紙があります。全県を見てみても、地元紙がある地域は少ない状況です。細やかに一番身近なことを紹介してくれる地元紙があります。市民の皆さんへ伝達するツールとしては、本当にありがたい公共のツールです。このことから、ないないではなく、何があるのではなく、大館市にはそのようなのがあり、あるものを有効に活用していくことができると、私自身実感しました。会議では、子どもハローワークも紹介したいと思い、事前に山本学校教育課長に伺いました。去年は、2,254人の子どもが企業を訪問したそうです。最近では、求人難の状況も出ているようで、小・中学生にも企業側が熱心に説明してくださるそうです。子どもハローワークを情報発信の場として捉えていて、自分の会社を知ってもらいたい気持ちが伝わる、そのような傾向が見られると、課長から伺いました。各課の評価項目は、色々ありますが、市を挙げて大館の重点施策となっている「ふるさとキャリア教育」は、今年もこの目標の下に一致団結して進めていいと思いました。自分自身もその中にいるということを、そのことを実感させていただきました。子どもの育っている姿が、私たちの励ましになっています。教育委員として会議に出席させていただいた感想です。</p>
委員	<p>全県市町村教育委員会委員長・教育長会議について、もう1点です。会議終了後、県の義務教育課長さんから、実は子どもハローワークの取り組みを、他の地区でもやってみませんかと話したかったけれども、今回はできなかったと言われました。他の地区で同様に開設すると、関心を持った子どもたちは、他地区の会社を見たいと思うなど、さらに交流が生まれるのではないかと、そのような構想を描いているけれども、まだそこまではできないので、今日はあえて発言しなかったと言われていました。大館の子どもハローワークを高く評価してくださっていることが伝わってきました。</p>
教育長	<p>清野委員の発言に関連してです。大館市の予算で行っている子どもハローワークですが、希望があれば他市町村の子どもも受け入れています。今回、北秋田市の伊勢堂岱遺跡に関し、ボランティアガイドの募集がありました。それを子どもハローワークに流したところ、大館市の子ども2名が参加することになりました。このように、市町村を越えて行われています。去年は、鹿角市や上小阿仁村の子どもたちも参加していることから、その辺はオー</p>

	<p>ブンにして進めていかなければいけないと考えています。</p>
委員	<p>以前、屋内プールの話が出ていましたが、白紙に戻ったのでしょうか。</p>
スポーツ振興課長	<p>市民プールを解体した後、その代替プールとして、県と交渉中ですが、閉校した大館工業高校のプールを考えています。屋内プールについては、水泳協会はじめ、市民ニーズもあることは承知しています。実際に工業高校のプールが市民プールとして活用されだすと、改めて屋内プールの必要性や市民ニーズ等が出てくると思われるので、その時は、色々把握したいと考えています。</p>
教育長	<p>特に異論がなければ、議案第14号と議案第15号について承認することよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
教育長	<p>議案第14号及び議案第15号を承認します。</p>
教育長	<p>その他に入ります。何かありましたら発言願います。</p>
郷土博物館長	<p>(「任期付職員の採用について」、口頭により説明)</p>
教育総務課長	<p>(「一般財団法人 大館市文教振興事業団」の指定管理施設の運營業務について、資料により説明)</p>
教育次長	<p>(「中学校における新聞活用の拡充について」を、資料により説明)</p>
委員	<p>大変ありがたいことだと思います。先日、選挙に関連し魁新報に、秋田県の高校生の新聞購読率が、全国平均より高いと掲載されていました。新聞販売所の取り組みも、良い影響を及ぼしているのではないかと、感じました。識見を持った若い人たちが、育って欲しいものです。</p>
教育次長	<p>実は、図書館が、予算を減らされて、新聞の購入を止めたままです。</p>
委員	<p>以前、田代図書館に行った時に、年配の方が日課にして立ち寄る姿を見ました。図書館で新聞を読むことが、日課になっているということです。このような方々を大事にする必要がある、図書館はそのような意味もあると、強く印象に残り記憶しています。各図書館では、そのような見識を持っていただきたいものです。何とか対応できないものでしょうか。積極的な話題にしたいと思っています。</p>

教育次長	図書購入費が800万円あるので、その辺で協議は可能だと思います。
委員	図書館には新聞があるという、先入観があります。
教育次長	高校まで拡大したいと考えています。
スポーツ課長	(「市民プール解体事業の実施工程表」について、資料により説明)
学校教育課長 補佐	(「4～5月の事故の状況」について、資料により説明)
教育長	来月の日程についてお願いします。
教育総務課長	(来月の開催日程について)
教育長	それでは、これをもちまして教育委員会会議を終了いたします。
	会議終了時刻 午後5時30分